

とつか絆・草の根ネットワーク
「安心・安全を無線通信でつなぎます
(2014)」 6月7日(土)

(区内ボランティア拠点・地域防災拠点間通信訓練)

情報通信月間参加行事
戸塚アマチュア無線クラブ
(横浜市アマチュア無線非常通信協力会
戸塚区支部)

通信確認メイン ハード

351MHz帯デジタル
簡易無線機(登録局)

拠点A班
小雀公園

JE1ENI 田中
JH4DOV 金尾

拠点B班
上矢部小

JA1JYS 水野
7N3JBW 小池

アマチュア無線機
144/430M

通信確認サブハード

- ・デジタル簡易無線で通信が困難な場合
- ・移動中の補完、通信設定等

14/6/7区内展開図

運用イメージ



下倉田町:明学大付近運用
場所(JQ1YZA/1 統制局)

JA1PIB 三上 7L4RWL 江本
JF1OOJ 中町 JK4MRL 松永

JR1YWP 戸塚区役所局 JP1DMV 姫本

JA1ALP 平山 JO1QYI 伊藤

・災害対策本部での情報収集及び通信補完を想定



拠点C班
東品濃小

JH1EHE 小野寺
JH1HUU 池上



拠点D班
東俣野小

JA1JDN 木村
JL1SPI 福本
JF1GZO 佐々木

ホットライン

- ・1200MHz帯アマチュア無線
- ・明学大-区役所の連携

至 戸塚駅方面

明学大統制局付近図

下倉田町1450番地



明学大南門

幸ヶ丘自治会館

日程表(タイムライン)

11:00～ 各局は 433.46で随時連絡を取り合う



12:30 下倉田明学大統制局集合:デジタル機受け渡し・操作方法レクチャ・連絡方法確認
明学大統制局、区役所局全員・拠点A～Dから1名集合(必須) ※雨天時代替地(433.46で
情報共有)

13:15 下倉田(または代替地)から区役所、各拠点へ移動

13:30 区役所入館、各拠点で班員合流 下倉田統制局から随時テスト送信(チャンネル確保のための430とデジタル簡易) 13:45 1295.46MHzで下倉田統制-区役所間通信確保

14:00 区役所局と各拠点A～D順で感度メット交換 ①デジタル簡易(26ch待受) ②145.46
③433.46 (デジタル簡易の入感メットが無い場合は433.46へ戻る)

15:00 下倉田統制局と各拠点A～D順で感度メット交換 ①デジタル簡易(26ch待受)
②145.46 ③433.46 (デジタル簡易の入感メットが無い場合は433.46へ戻る)

16:00 終了 16:30 下倉田統制局へ機器返還のため 各拠点1名集合

企画意図・実施概要(1)

- 「情報通信月間(5/15～6/15:6/1電波の日)」は、総務省主管で情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられたものであり、その期間中、全国各地で情報通信に関する様々な行事を開催し、それら行事を通して、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展・安全・安心に寄与すること等について、広く周知する目的とする
- 戸塚アマチュア無線クラブ(横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部)では、2007年3月に区内全域で病院・福祉施設等との通信訓練(及び電波到達確認)を行った。また、2012・2013年(旧地域医療拠点を対象)6月にも同様の訓練を実施した。
- 今回は、2014年1月17日に区ボランティア地域防災拠点としての活用についての協定が結ばれた明治学院大学戸塚キャンパス内の想定施設に統制局を仮設し、区役所内常備アマチュア無線局(戸塚区役所クラブ局)の通信支援及びボランティア派遣先(想定)である地域防災拠点(小中学校等)との通信訓練及び電波到達確認を実施し、災害ボランティア自身が無線機を使用する際の通信状況のデータベースを作成することへの情報提供を目的とする

実施概要(2)(案)

- 実施日:6/7(土曜日) 10時~15時
- 実施主体:戸塚アマチュア無線クラブ(横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部)
- 想定活動人数:戸塚クラブ員(各拠点・区役所2~4名程度)、**区役所総務課(防災担当)**、明学大、社協・災害救援活動ネット、(明学大・区役所・フレンズ戸塚で各2名程度)【下線部は要調整】
- 戸塚クラブ員は区内の主要拠点(電波伝搬に問題が有りそうな拠点を想定)を3パーティ程度で移動し、拠点で簡易デジタル無線機及びアマチュア無線機(いずれもハンディ型)を用いて、明学大仮設局、区役所常備局との交信を実施し、電波伝搬確認(強さなど)を確認する。
- 協力 戸塚区役所総務課・戸塚区社会福祉協議会・とつか災害救援活動ネットワーク・明学大ボランティア団体・FM戸塚(予定)
- 各パーティの無線設備は簡易デジタル無線機(クラブ員・非常通信協力会他区支部提供支援)及びクラブ員所持のアマチュア無線機(ハンディ型)

情報通信月間推進協議会 参加行事選定(関東管内)

<http://www.jtgkn.com/>

情報通信月間 5/15~6/15
The Council for Info-Communications Promotion Month

文字サイズ: 小 中 大

情報通信月間とは TOPICS 参加行事一覧 報告書一覧 総務省 募集関連 事務所所在地

H26参加行事

第30回
情報通信月間 5/15~6/15

関東圏へのリンク集

情報通信月間推進協議会 事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2丁目9番14号 郵政福祉ビル 第1ビル3F (一財)全国地域情報化推進協会内
TEL: 03-5251-0320 FAX: 03-5251-0317

情報通信月間は、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、電気通信市場の自由化が行われた昭和60年に設けられました。この月間の期間中、全国各地で情報通信に関するさまざまな行事を行い、豊かで幸せに暮らせる社会を築いていく上で大きな役割を果たす情報通信について、広く皆様のご理解とご協力を求めていきたいと考えております。

2014 情報通信月間行事一覧表



毎年2月末まで
に参加表明

行事名	とつか絆・草の根ネットワーク 「安心・安全を無線通信でつなぎます」		① 団体名	② 電話
【内容】	日程	場所	③ e-mailアドレス	④ 入場料
戸塚区役所及び新設された防災活動拠点と各所防災拠点間の通信伝播調査をアマチュア無線・デジタル簡易無線を用い、通信データベースの構築を行う。	8/7	戸塚区内各地	① 戸塚アマチュア無線クラブ (会長 姫本方)	② 045-882-8318
	主催	戸塚アマチュア無線クラブ (横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部)	③ jqlzya@>jarl.com	
ホームページアドレス	http://homepage3.nifty.com/okudat/tarc/			

区と明学大との 災害ボランティア活動拠点の設置に関する協定



横浜市記者発表資料

平成26年1月17日
戸塚区総務課



戸塚区と明治学院大学が「災害ボランティア活動
拠点の設置に関する協定」を締結しました



戸塚区は、本日、1月17日『防災とボランティアの日』に、明治学院大学と「戸塚区災害ボランティア活動拠点の設置に関する協定」を締結しました。

本協定は、大規模災害時に、被災者支援に参加していただく、ボランティアの活動拠点として、明治学院大学より同大学横浜校舎内の体育館等を提供していただくものです。

また、戸塚区役所と明治学院大学では、平常時から相互に連携・協力し、ボランティア団体及び地域住民等との良好な関係維持に努めて、大規模災害に備えた体制を構築していきます。

【災害ボランティア活動拠点とは】

大規模地震が発生し、戸塚区や横浜市に大きな被害の発生が予想される場合に、ボランティアを希望する個人・団体等からの問合せに対応するとともに、地域防災拠点などの被災者のニーズに合わせた、ボランティアを派遣する等のコーディネートを実施します。運営は、「戸塚区社会福祉協議会」と、区内のボランティア団体の御協力を頂きます。

社協におけるボランティア派遣の考え方(抜粋)

- 戸塚区防災計画が策定され、「災害ボランティアセンター」についても明記されました。災害ボランティアセンターは、災害発生時に他都市等からのボランティア活動希望者と被災者からのニーズを繋ぐ場所です。戸塚区災害ボランティアセンターは災害の状況等により明治学院大学横浜校舎や戸塚区福祉保健活動拠点(フレンズ戸塚)に区本部長の指定により設置されます。
- 大きな災害が発生すると、多くのボランティアが他都市から駆けつけてきてくださいます。このようなボランティア活動希望者の力を最大限発揮していただくためには、被災地として、どこでどのような支援を求めているかという情報を集め、その状況に対応したボランティア活動希望者を送り出すしくみ＝災害ボランティアセンターの役割が大変重要となります。
- 戸塚区社会福祉協議会は戸塚区災害対策本部及びボランティア団体と連携し、災害ボランティアセンターの設置、運営をすることが戸塚区防災計画で位置付けられました。
- 横浜市戸塚区社会福祉協議会「災害ボランティアセンター」
<http://www.totsukashakyo.com/work/volunteer/saigai.php>より抜粋

